

Yasuo Segawa



赤いかっぱ(部分) 1991年



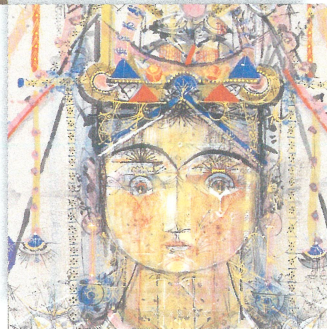
ふしぎなたけのこ(部分) 1963年



ちよっときて(部分) 1996年



いないいないばあ 1967年
ちひろ美術館蔵



観音(部分) 1995年

対談
瀬川康男VS辻村益朗 (デザイナー)
「絵とともにきのうきょうあした」
1999年1月9日[土] 午後2時から
場所=美術館研修室
定員=70名(聴講無料)
(要整理券、展覧会チケット)
※整理券のお問い合わせは美術館まで

いのち・ものがたる絵たち

瀬川康男展

1998年12月19日(土) - 1999年1月24日(日)

休館日=毎週月曜日、12月24日(祝)、12月29日(祝)~1月3日(祝)

開館時間=午前9時~午後5時(入館は閉館の30分前まで) ただし、金・土曜日は午後7時まで開館

入場料=一般600円(400円)、高・大学生400円(200円)、小・中学生100円(50円)

()内は前売料金及び20名以上の団体料金/就学前の子どもは無料

主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、朝日新聞社 後援=JBBY、愛知県教育委員会

刈谷市美術館 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 tel.0566-23-1636
交通案内=JR・名鉄三河線[刈谷駅]下車、南口から徒歩10分

Kariya City Art Museum

沸騰する花たち(部分) 1991年

いのち・ものがたる絵たち 瀬川康男展

瀬川康男は、1960年に初めての絵本「きつねのよめいり」を発表して以来、1967年「ふしぎなたけのこ」で第1回ブラチスラバ世界絵本原画展グランプリを受賞するなど、絵本作家として国際的にも高い評価を受けてきました。30年余りの作家生活の中から100冊以上に及ぶ絵本を発表しています。

1932年に愛知県岡崎市に生まれた瀬川は、父親の影響で、幼い頃から美術に親しみました。高校卒業後、上京し、松谷みよ子氏や松居直氏との出会いにより、本格的に絵本の仕事を始めます。そして、古今東西の芸術を積極的に吸収し、既成の概念や自らの画風を刻々と変化させてきました。一方、タブロー、版画、スケッチなど、絵本以外の作品も幅広く手がけ、独特の装飾観による作品を生みだしています。しかし、これまで絵本以外の作品が発表されることは、ほとんどありませんでした。今回の展覧会は、待ち望まれた初の全貌展です。瀬川芸術の多彩な作品を絵本原画はもちろんのこと、初公開の初期油彩画や新作のテンペラ画、リトグラフを含めてご紹介します。

※会期中、一部展示替えをいたします。

刈谷市美術館

◎所在地＝愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
〒448-0852 tel.0566-23-1636



オニ 1965年頃



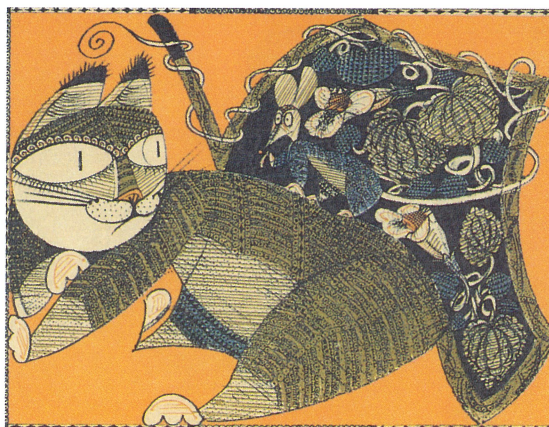
山んば 1968年



如盛 1990年



獣の如きもの歩む(赤)・未完 1975年



ふたり 1981年 ちひろ美術館蔵

会期中の催しもの

対談 瀬川康男VS辻村益朗(デザイナー)

「絵とともにきのうきょうあした」

1999年1月9日[土] 午後2時から

場所＝美術館研修室

定員＝70名《聴講無料》

(要整理券、展覧会チケット)

※整理券のお問い合わせは美術館まで

おはなし会

1999年1月15日[金] 午後2時から

清水多津子さん(刈谷市中央図書館司書)

場所＝美術館研修室 定員＝20名

ワークショップ つくろう!ばたばた絵本

1999年1月16日[土] 午後2時から4時

1月17日[日] 午前10時から午後3時

内容＝手のひらサイズでパタパタと折りたためる絵本をつくります。

対象＝小学3年生以上大人まで

(ただし2日連続して参加できる人に限ります)

定員＝15名(応募多数の場合は抽選)

参加費＝800円(レクリエーション保険かけ金)

申込方法＝往復はがきに、氏名、保護者名(子どもの参加者のみ)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、学校名、学年(子どもの参加者のみ)、催しものの名前、返信用はがきに住所、氏名を記入のうえ、美術館までお送りください。

申込みしめきり＝1月8日[金] 必着

子どものためのギャラリートーク

1998年12月23日[水]、1999年1月23日[土]

定員＝10名

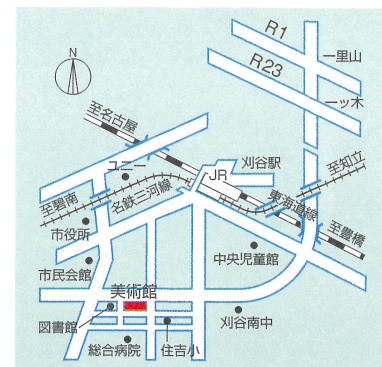
対象＝小学1年生から4年生 午前10時から11時

小学5年生から中学生 午後2時から3時

おとなのためのギャラリートーク

1998年12月26日[土] 午後2時から3時

1999年1月15日[金] 午前10時から11時



◎交通案内＝JR・名鉄三河線[刈谷駅]下車、南口から徒歩10分 ◎駐車場＝42台収容可能